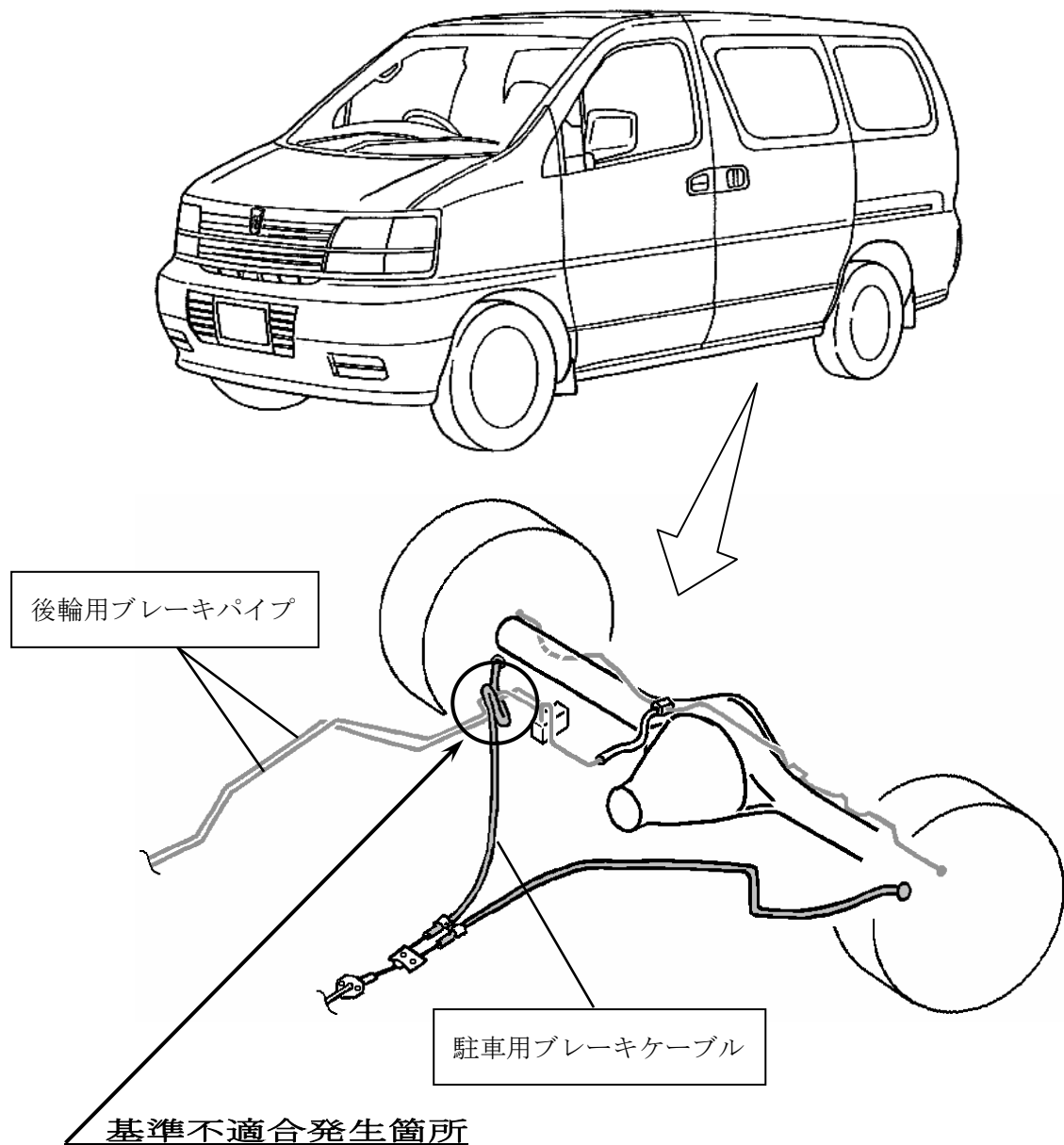


## 改善箇所説明図



駐車用ブレーキケーブルにおいて、製造時の組付けが不適切なため、当該ブレーキケーブルと後輪用ブレーキパイプとの隙が狭いものがあり、干渉しているおそれがある。そのため、そのまま使用を続けると、干渉部位が摩耗するおそれがある。

### 改善の内容

全車両、駐車用ブレーキケーブルと後輪用ブレーキパイプとの隙間を点検し、干渉している場合は隙間を確保する。なお、後輪用ブレーキパイプの保護用ゴムが摩耗しているものは補修し、金属が露出しているものは後輪用ブレーキパイプを新品と交換する。また、駐車用ブレーキケーブルが摩耗して金属が露出しているものは駐車用ブレーキケーブルを新品と交換する。

識別：銀色のシールをモデルナンバープレートの右横に貼り付ける。

注：  は、交換部品を示す。